

日本プロテオーム学会 2016 年会（JHUPO 第 14 回大会）  
理事会 議事録

日時： 7 月 28 日（木） 12:15～13:15

場所： 北里大学白金キャンパス 薬学部1号館6階 1604 会議室

〒108-8641 東京都港区白金 5-9-1 03-3444-6161（代）

URL： <http://www.kitasato.ac.jp/access/sirokane/index.html>

出席者： 足立、石濱、植田、尾野、梶、上家、川上、木下、木村、小寺、小松、榊原、曾川、高山、朝長、中神、服部、本田、松本、山本、横田

1. 報告事項

1) 会員数（小寺）

2016 年 7 月 20 日現在

種別	会員数
個人会員、学生会員	個人会員 631 名 <sup>※1</sup> （昨年度 624 名 <sup>※1</sup> 、一昨年度 740 名） （新規入会 52 名） 学生会員：204 名 <sup>※2</sup> （昨年 202 名、一昨年 165 名） （新規入会 23 名）
法人会員	10 社（昨年度 7 社、一昨年度 8 社）
合計	835 名 + 10 社

※1. 実会員数(直近3年の年会費未納者を除いた数)

※2. 卒業届け未提出者も含むため確かな数字ではない(今後、確認)

2) 理事会報告(小寺)

● 第1回メール理事会「法人会員規程の改訂について」

【変更前】(2)法人会員 法人会員は、毎年会員登録者リスト(最大 10 名)を提出することができ、リストに記載された大会参加者には個人会員の参加費が適用される。ただし、登録者の年会費は法人会員の年会費に含まれることとし、別途徴収はしない。

【改定後】(2)法人会員 法人会員は、毎年会員登録者リスト(最大 10 名)を提出することができ、リストに記載された本会未入会者は個人会員として登録される。ただし、登録者の年会費は法人会員の年会費に含まれることとし、別途徴収はしない。→ 学会規約参照

● 第2回メール理事会「HUPO 理事推薦」

● 第3回メール理事会「HUPO2016 トラベルアワード」

3) JHUPO 第 13 回大会報告（荒木）

- ・熊本森都心ホールにて開催。383 人の参加者（招待講演等が多い）
- ・懇親会：140 名登録 招待もいるので 170 名程度参加。
- ・半日トレーニングコースを実施。MS の実機を用いてデモ。2D-PAGE 及びインフォマテイクスまで。
- ・21 セッション、シンポジウムが 7、招待講演 2、ポスターで創薬関連の発表を創薬イノベーションとして実施。
- ・会計報告：熊本コンベンションセンターからの助成金もあり(350,000)これは招待講演演者の

エクスカーション等に使用。

#### 4) JPrOS/JHUPO 第 14 回大会報告 (服部)

- ・植田実行委委員長のご尽力でいくつかの企画が実施されている。
- ・昨年度より 200 万ほど収入が減少、ただし、支出は 300 万以上抑えられている。

#### 5) JPrOS/JHUPO 第 15 回大会準備状況報告 (朝長)

- ・朝長先生から来年度の大会の紹介。3 日間開催とする (トレーニングコースを含めて)
- ・前日からトレーニングコース等を実施する。

#### 6) 日本プロテオーム学会賞及び各賞の受賞者 (石濱)

- 学会賞

荒木 令江(熊本大学)

「融合プロテオミクスを基盤としたシステムズバイオロジーの腫瘍研究への応用」

- 奨励賞

木村 鮎子(横浜市立大学)

「癌悪性化機構の解明を目指したリン酸化プロテオーム解析」

長塩 亮(北里大学)

「抗体作製を基盤とした肺癌の診断並びに予後予測マーカーの獲得」

#### 1) KHUPO との交換講演 (石濱)

講演者は派遣元学会が推薦する。派遣先学会の負担は参加費のみ(講演者への謝金あり)。

JHUPO 側が受け入れる場合は、講演者への謝金の代わりに、航空券、ホテル代を直接負担。(税金の問題。年会ではなく学会が負担)。

2010 年 KHUPO 山本 格、木下英司

2010 年 JHUPO Ho Jeong Kwon (KHUPO 会長)

2011 年 KHUPO 平野 久

2011 年 JHUPO Je Kyung Seong (Seoul National Univ), Kang-Sik Park (Kung Hee Univ)

2012 年 KHUPO 山田 哲司

2012 年 JHUPO Kwang Pyo Kim (Konkuk University)

2013 年 KHUPO 朝長 毅

2013 年 JHUPO KHUPO7 名の HUPPO2013 によるサポートで対応

2014 年 KHUPO 近藤 格 (KHUPO 側からの推薦)

2014 年 JHUPO Byoung Chul Park (Korea Res. Inst. of Biosci. & Biotechnol.)

2015 年 KHUPO 荒木令江

2015 年 JHUPO Bonghee Lee (Gachon University)

2016 年 KHUPO 小松節子, 野呂 絵里花

2016 年 JHUPO Kwang Pyo Kim

#### 2) HUPPO, AO-HUPPO 活動報告 (朝長)

- HUPPO Congress: 2016/9/18-22 Taipei, 2017/9/17-20 Dublin, 2018 (場所・期間未定)

- ・ Dr. Yu-Ju Chen が大会長。日本からの参加を増やすことで AO-HUPPO へ台湾からの参加

を促したい。

- AOHUPO Congress: 2016/9/22-23 Taipei, 2018/5/17, 18? Osaka, Japan
- HUPO 理事推薦(2017-2019) 石濱 泰 先生
- HUPO アワードノミネーション: Translational Proteomics Award 山田 哲司 先生

### 3) HUPO イニシアティブ活動の報告

- B/D-HPP (山本、成松)
  - ・成松先生がやられている糖鎖関連のイニシアチブでパイロットスタディーをやっている。
  - ・台北での報告の予定なし。
- C-HPP (山本)
  - ・あまり活発ではない。日本でどうするか? CH ごとにやる意味を皆が理解しないとイケない。山本先生の後継を探す必要がある。12 番に関しては日本全体でやっている感じではない。
  - ・HUPO 中での意見は?
  - ・Aebersold や Mann は一時期関与したが今はあまり積極的ではない。
  - ・HUPO 中には意義を感じている人もいるが、そうじゃない人もいる。
  - ・全く無視はできないが、資金もないため後継者はなかなかいないだろう。
  - ・片手間ではできない。山本先生のところで後継者を育てるなどが必要。
  - ・jPOST でデータを整理することで代替するという案が挙げられた。
  - ・今後も継続的な議論が必要。

### 4) 会員ウェブページの設置と大会要旨登録システムの作成について (石濱)

- ・大会要旨登録システムを作った。学会事務局の中に作ったので毎回作る必要はない。まだ改良は続けている。

### 5) JHUPO データベースセンター、jPOST について (石濱)

- ・昨日ワークショップを開催した。
- ・5/2 にプレスリリースして、7/6 に正式に PXC に加盟。
- ・本会でもブースを設けている。

### 6) 各委員長からの活動報告

- 学会誌編集活動(J-STAGE への登録) (木下)
  - ・創刊号に関してはほぼ作業は終了。
  - ・J-STAGE の登録が締め切られてしまった。
  - ・Proteome Letters という名称。
  - ・HP できるだけ早いうちに公開。公開後 J-STAGE への登録を目指す。
- ・投稿規定について修正案を作った
- ・規定を規程に変更するなど、細かい文言を訂正。
- 学術企画活動 (梶)

- ・生化学会でシンポジウムを企画し採択された。
  - **教育活動（曾川）**
    - ・トレーニングコースを2回実施。5/27 に麻布大学、5/28 に北里大学 相模原キャンパスにておこなった。
    - ・全くの初心者という方はほとんどいなかった。
    - ・会員7名 非会員5名 2名がその後入会。
  - **国際活動（成松、小松）**
    - ・植物関係のプロテオミクスに関する2つほどの国際的な学会等に参加。
    - ・AO-HUPO と連携を図りたい
  - **広報活動（尾野）**
- 7) 病理と臨床(文光堂)「疾患研究の基盤となる国際コンソーシアムの動向」「次世代オミックス疾患解析の基盤となる国際連携: Human Proteome Organization (HUPO)」(朝長)
- 8) 2015 年度主宰・後援・協賛実績 (朝長)
- 【主催・共催】
- 2015.10.13 第1回 jPOST ワークショップ「Computational Proteomics」JST 東京本部 別館 K's 五番町 2F 会議室 A1, 2 (東京都千代田区五番町 7)
- 【後援・協賛】
- 2016.3.25 第13回北里疾患プロテオーム研究会・第66回電気泳動学会シンポジウム(日本プロテオーム学会後援, 北里大学相模原キャンパス L2 号館 210 番教室)

## 2. 審議事項

### 1) 平成 27 年度収支決算報告 (榊原)

#### 【平成 27 年度(2015 年度)会計報告】

収入	6,718,540 円
《 内訳 》	
2015 年度への繰越金	5,518,665 円
個人会員費	814,000 円
法人会員費(7 口)	350,000 円
その他(お弁当代徴収)	22,000 円
その他(JPrOS2015 繰入金)	13,142 円
利息	733 円
支出	1,714,094 円
《 内訳 》	
理事会開催経費	101,424 円
Web 運営維持管理費	432,420 円
地域シンポジウム開催経費	0 円
その他(学会賞関連)	27,000 円


その他(JPrOS 関連行事等)	267,486 円
その他(ウェブ会議システム)	183,600 円
その他(J-STAGE 登録)	193,320 円
その他(JPrOS2016 開催準備金)	500,000 円
その他(口座開設費返金)	1,500 円
振込手数料	7,344 円
予備費(2016 年度への繰越金)	5,004,446 円


平成 27 年度 (2015 年度) 会計監査報告書

収入	6,718,540 円
支出	1,714,094 円
平成 28 年度へ繰越	5,004,446 円

上記の通り相違ないことを証明致します。

平成 28 年 7 月 21 日

会計監査 久保口 一石 

会計監査 川上 隆雄 

2) 平成 28 年度事業案及び予算案 (榊原)

【平成 28 年度(2016 年度)予算案】

<b>収入</b>	<b>7,705,446 円</b>
《 内訳 》	
2015 年度繰越分	5,004,446 円
会員 年会費	800,000 円
法人会員 年会費	500,000 円
JPrOS 大会 Web システム利用料	900,000 円
2016 年 年大会開催準備金返還金	500,000 円
利息	1,000 円
<b>支出</b>	<b>1,904,220 円</b>
《 内訳 》	

理事会関連経費	100,000 円
Web 会議システム経費	183,600 円
学会賞関連	50,000 円
KHUPO 関連行事	200,000 円
地域シンポジウム開催経費	300,000 円
学会誌作成費	560,620 円
2017 年大会開催準備金	500,000 円
振込手数料	10,000 円
<b>予備費（平成 28 年度に繰り越し）</b>	<b>5,801,226 円</b>

- ・服部先生から諸々収支決算がおかしいとの指摘（昨年からの学会の余剰金の取り扱いなど）
- ・総額はあっているが、項目がおかしいので後ほど訂正する旨を総会で伝える。
- ・一旦承認を求めて訂正して再承認する
- JPrOS 大会における Web システム利用料について(小寺)
  - ・大会が JPROS が作ったシステムを使用することで 1 名あたり 3000 円を徴収する。
  - ・もし、会場費が高くこれが支払えない場合もある。その場合は学会が赤字を補填するという形をとる。
  - ・外部はもっと高いのでリーズナブル。

### 3) 2017 年会及び 2018 年会

備考: JHUPPO 大会、日本プロテオーム学会年会 (JHUPPO 大会) 開催地及び大会長 (朝長)

年	開催地・大会長
2003	第1回 つくば・中西洋志
2004	第2回 東京・戸田年総
2005	第3回 横浜・平野 久
2006	第4回 東京・西村俊秀
2007	第5回 東京・磯邊俊明
2008	第6回 大阪・高尾敏文
2009	第7回 東京・前田忠計
2010	第8回 千葉・山田哲司
2011	第9回 新潟・山本 格
2012	第10回 東京・高橋信弘
2013	第11回 (HUPOと合同) 横浜・平野 久
2014	第12回 つくば・成松 久
2015	第13回 熊本・荒木令江
2016	第14回 東京・服部成介
<b>2017</b>	第15回 大阪・朝長 毅 7/26-28, ホテル阪急エキスポパーク
<b>2018</b>	第16回 大阪・石濱 泰 2018.5.15-18, ホテル阪急エキスポパーク AOHUPPOとの合同大会ならびに質量分析総合討論会との連続開催

- 4) JPrOS イニシアチブについて(朝長)
- プロテオームデータベースイニシアティブ「JST ライフサイエンスデータベース統合推進事業統合化推進プログラム「プロテオーム統合データベースの構築」プロジェクト」(石濱)【別添資料参照】
  - 血清・血漿プロテオームイニシアティブ「AMED バイオバンク品質／利活用プログラム(仮称)」(朝長)【別添資料参照】
    - ・jPOST は現在ただ一つの学会主導で得たグラント。
    - ・AMED バイオバンクの品質評価をするプロジェクトが1年間調査費として付いた。AMED から学会としてやってほしいという提案。評価項目決定のための予算。
    - ・学会全体でやるというより中心的にやるグループを作ってほしいという要請なのでイニシアチブを作る。
- 5) HUPO トラベルアワード(朝長)
- HUPO トラベルアワード(HUPO)  
高橋知里(京都大学), 草本寛(広島大学), WANG Xin(筑波大学)
  - HUPO トラベルアワード(JPrOS)  
伴 涼太郎(横浜市立大学), 阿部雄一(医薬基盤・栄養・健康研究所), YIN Xiaojian(筑波大学)
- 6) HUPO C-HPP について(朝長)
- Ch 3(川村先生より報告)
    - ・西村先生から川村先生にバトンタッチ。
    - ・西村先生と東城先生に co-PI をやっていただく
    - ・肺がんのプロテオーム解析の結果から Ch3 を中心に整理していく方向。
    - ・JPrOS 全体で実施する体制を作れないか？
- 7) 学会誌のオープンアクセス化について(木下)
- ・J-STAGE はオープンアクセスを推奨。
  - ・学会員の特権としては投稿料が免除なので、オープンで良いかも。
  - ・会員を増やしたいのであれば一部を選んでオープンに。
  - ・テクニカルにはできる。
  - ・著者のためにはたくさんの人に読んでいただきたい。
  - ・本を作るときには不利かも。
  - ・まずはオープンで始めて後で考える。
- 8) その他
- 庶務担当業務の分担について
  - 納税について
  - 理事の任期について





理事(2015-2017年度)メンバー

理事役割分担		氏名(敬称略)	理事回数	備考
会長		朝長 毅	3	HUPO 理事(2013-2015), AOHUPO 理事(2013-2015)
副会長		石濱 泰	2	AOHUPO 理事候補(2016-2018)
庶務委員	主	小寺 義男	2	
	副	木下 英司	2	
	副	松本 雅記	1	
会計委員	主	榊原陽一	2	
	副	中神 弘史	1	
広報委員	主	尾野 雅哉	1	
	副	上家 潤一	1	
学会誌編集委員	主	山本 格	2	HUPO 理事(2015-2017)
	主	木下 英司	2	
	副	本田 一文	1	
	副	木村 弥生	1	
学術企画委員	主	梶 裕之	1	
	副	植田 幸嗣	1	
	副	長野 光司	1	
国際委員	アドバイザー	和田 芳直	3	アドバイザー
	主	成松 久	2	HUPO 理事(2014-2016)
	副	小松 節子	1	HUPO 理事候補 (AOHUPO 枠) (2016 -2018)
大会(年会)委員	主	横田 博之	2	
	副	服部 成介	2	
	副	朝長 毅	2	
教育委員	主	高山 光男	1	
	副	曾川 一幸	1	
	副	足立 淳	1	
監事	主	久保田 一石	1	
	副	川上 隆雄	1	